

市内の河川水質検査結果を公表します。



市では、毎年市内の主要河川を対象に水質調査を行っています。過去10年間の水質の移り変わりを見ると、その年によって多少のばらつきはあるものの、ほとんどの河川において類型などの変化は見られない状況です。

この水質検査は、水質の状況を把握し、市民の皆さんの健康保護と生活環境の保全を図ることを目的に行っています。

今年8月に実施した水質検査結果は、下表1のとおりです。

河川は、BOD(生物化学的酸素要求量)やSS(浮遊物質)などの値によって、最高評価のAから最低評価のDまでに分けられます(下表2「生活環境の保全に関する環境基準」に定める河川の類型別基準値を参照してください)。

市内の全ての河川で最高評価Aを獲得できるよう、水質保全に努めましょう。

【用語説明】

※PH 酸性、アルカリ性の程度を表すものです。7が中性で、7未満で酸性、7を超えるとアルカリ性となります。

※BOD 水中の微生物が有機物を分解する際に必要とする酸素の量のことです。水がきれいであれば、有機物を分解する時の酸素量は少なくすみます。逆に分けられれば必要とする酸素量は多くなり、値も大きくなります。

※SS 水中に浮遊する直径2mm以下の不溶性物質のことです。SSの値が大きいほど透明度などの外観が悪くなり、光の透過が妨げられて水中植物の光合成に悪影響を与えます。

※DO 水中に溶け込んだ酸素量のことです。DOの値が小さいほど水質が悪いことを表しています。

※大腸菌群数 水中に存在する大腸菌群の数のことです。

表1 水質調査結果

項 目		類 型	*PH 水素イオン濃度	*BOD 生物化学的酸素要求量	*SS 浮遊物質	*DO 溶存酸素量	*大腸菌群数
桂 川	境・境橋上	A	8.1	0.5未満	1.4	9.2	3,900
	田原・合流点上	A	7.8	0.5未満	2.4	8.8	22,000
	下谷・院辺橋合流点上	A	8.1	0.5未満	2.2	8.6	24,000
鹿留川	沖・相川ブレス前	A	7.8	0.8	2.4	7.9	22,000
	古渡・おなん淵上	A	8.1	0.7	0.5未満	8.7	35,000
菅野川	菅野・人家はずれ	A	7.7	0.5未満	0.5未満	9.3	1,100
	大津・熊井戸取水口	A	7.7	0.5未満	0.5未満	8.4	5,400
	玉川・合流点上	B	7.8	1.3	1.1	7.9	24,000
	九鬼・合流点上	B	7.8	1.5	2.3	8.3	35,000
家中川	田原・十萬石前	A	7.9	0.8	0.7	9.4	22,000
	上谷・市役所前	B	7.8	1.3	0.9	8.6	33,000
	四日市場・信号横	B	8.0	2.3	1.8	8.1	79,000
大幡川	下大幡・大門取水口	A	7.5	0.5未満	1.3	8.1	5,400
	金井・合流点上	B	8.0	1.2	2.6	8.1	33,000
戸沢川	上戸沢・せせらぎ荘上	AA	7.9	0.5未満	0.7	8.7	63
	玉川・合流点上	A	7.5	0.9	0.5未満	8.0	13,000
朝日川	朝日曾雌・合流点上	AA	8.0	0.5未満	4.2	8.9	330
	井倉・合流点上	A	7.2	0.5未満	0.5未満	7.7	1,600
柄杓流川	上夏狩・湯の沢温泉上	A	8.0	0.5未満	0.5未満	9.2	3,500
	十日市場・合流点上	A	8.0	0.5未満	0.5未満	9.1	11,000
桂 川	田野倉・桂川大橋下	A	8.2	0.8	1.2	8.9	27,000
寺 川	下谷・窪田米穀店前	B	8.0	2.3	0.6	8.2	70,000
中 川	中谷・家中川合流点	B	7.9	1.5	1.2	7.7	110,000

表2 「生活環境の保全に関する環境基準」に定める河川の類型別基準値

類 型	PH 水素イオン濃度	BOD 生物化学的酸素要求量	SS 浮遊物質	DO 溶存酸素量	大腸菌群数
A A	6.5以上、8.5以下	1mg/l 以下	25mg/l 以下	7.5mg/l 以上	50MPN/100ml 以下
A	6.5以上、8.5以下	2mg/l 以下	25mg/l 以下	7.5mg/l 以上	1,000MPN/100ml 以下
B	6.5以上、8.5以下	3mg/l 以下	25mg/l 以下	5.0mg/l 以上	5,000MPN/100ml 以下
C	6.5以上、8.5以下	5mg/l 以下	50mg/l 以下	5.0mg/l 以上	基準値なし
D	6.0以上、8.5以下	8mg/l 以下	100mg/l 以下	2.0mg/l 以上	基準値なし